

議事次第（予定）

12:30	受付開始
13:00-13:15	開催の辞
13:15-13:40	講演 1 「気候の危機を避けるには - 温暖化の科学と影響の現状 - 」 英国環境・食糧・農村地域省 温暖化対策室長 David Warrilow
13:40-14:05	講演 2 「日本における低炭素社会シナリオの展開」 国立環境研究所 主任研究員 藤野純一
14:05-14:30	講演 3 「インドにおける持続可能な発展のシナリオ」 インド経営工科大学 教授 P.R.Shukla
14:30-14:55	講演 4 「英国における低炭素社会シナリオの展開」 英国 Sussex 大学 主席研究員 Jim Watson
14:55-15:20	講演 5 「温暖化防止と持続可能な発展に向けた枠組み作り」 世界資源研究所 気候エネルギー部 部長 Jonathan Pershing（予定）
15:20-15:40	休憩
15:40-16:55	パネルディスカッション 「どうすれば持続可能な発展に向けた低炭素社会を形作ることができるのか？」 コーディネイター： 英国エネルギー研究センター 研究理事 Jim Skea パネリスト： 中国能源研究所 エネルギーシステム・市場分析部長 Jiang Kejun 欧州委員会環境局 気候変動・国際交渉・EU 行動監査ユニット 政策担当官 Willem Thomas van Ierland インド経営工科大学 教授 P.R.Shukla 国立環境研究所 理事 西岡秀三 世界資源研究所 気候エネルギー部長 Jonathan Pershing
16:55-17:00	閉会の辞 国立環境研究所 理事長 大塚柳太郎

（参考）我が国の研究内容の概要

脱温暖化 2050 研究は、地球環境研究総合推進費により、独立行政法人国立環境研究所が中心となって平成 16 年度から実施。日本における中長期脱温暖化対策シナリオを構築するために、技術・社会イノベーション統合研究を行い、2050 年までを見越した日本の温室効果ガス削減のシナリオとそれに至る環境政策の方向性を提示するもの。技術・制度・社会システムなどを横断した整合性のある実現性の高い中長期脱温暖化政策策定に貢献。また、経済発展と両立した脱温暖化社会に到る道筋を提言することで研究者以外の人々の脱温暖化政策への関心を高め、社会システム・ライフスタイルの改善に役立つよう情報を発信する。（<http://2050.nies.go.jp/index.html>）